

第5回

交通運輸技術フォーラム

～コロナ禍における交通運輸技術～

日時

令和3年 3月 9日(火) 13:30～16:30

会場

オンラインフォーラム(zoomウェビナー)

参加費

無料

定員

オンライン登録300名(先着順)

事前申込み受付中(3月5日(金)12時まで)

※定員に達した時点で申込みを締め切らせていただきます。

主催

 国土交通省

プログラム

13:30～13:35

開会

13:35～15:05

第一部 基調講演(各30分)

①スパコンによるウイルス飛沫エアロゾルシミュレーションを用いた公共交通機関のリスク評価と対策

講演者: 神戸大学大学院システム情報工学研究科 教授 坪倉 誠氏
理化学研究所計算科学研究センター チームリーダー

②コロナ禍を契機とした物流DXの実現

講演者: 株式会社ローランド・ベルガー パートナー 小野塚 征志氏

③コロナ対策における科学技術の活用について

講演者: 内閣官房副政府CIO 神成 淳司氏
慶應義塾大学環境情報学部 教授

15:05～16:25

第二部 交通運輸分野におけるコロナ対応新技術の紹介

- ・「車載用空気清浄機と空気清浄度モニター」(デンソー)
- ・「ニューノーマルを意識した高輪ゲートウェイ駅における実証実験」(JR東日本)
- ・「無人航空機の有人地帯における目視外飛行(レベル4)による配送サービス」(ANA、JAL)
- ・「自動搬送装置(AGV)による物流革新ソリューション」と「空気浄化技術とその電車・バスへの応用」(シャープ)

16:25～16:30

閉会

参加申込方法

下記E-mailアドレスにお名前、ご所属(会社名)、緊急連絡先(TEL)、参加者のお名前をお送りください。 ※1つのお申込みで複数名のご参加はご遠慮ください。

E-mail:koutsu-forum@eforest.jp



お問合せ先

国土交通省総合政策局技術政策課 交通運輸技術フォーラム担当
TEL:03-5253-8111(内線:25634)

第5回 交通運輸技術フォーラム ～コロナ禍における交通運輸技術～

13:35～15:05

第一部 基調講演 (各30分)

① スパコンによるウイルス飛沫エアロゾルシミュレーションを用いた公共交通機関のリスク評価と対策



講演者: 神戸大学大学院システム情報工学研究科 教授
理化学研究所計算科学研究センター チームリーダー 坪倉 誠 氏

1969年生まれ。1992年京都大学工学部物理工学科卒業。1997年東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻修了、博士(工学)。東京工業大学講師、電気通信大学助教授、北海道大学准教授を経て2015年より現職。また2012年より理化学研究所計算科学研究センターチームリーダーを兼務。

② コロナ禍を契機とした物流DXの実現



講演者: 株式会社ローランド・ベルガー パートナー 小野塚 征志 氏

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了後、富士総合研究所、みずほ情報総研を経て現職。ロジスティクス/サプライチェーン分野を中心に、長期ビジョン、経営計画、成長戦略、新規事業開発、M&A戦略、事業再構築、構造改革、リスクマネジメントなどをはじめとする多様なコンサルティングサービスを展開。

③ コロナ対策における科学技術の活用について



講演者: 内閣官房副政府CIO
慶應義塾大学環境情報学部 教授 神成 淳司 氏

慶應義塾大学環境情報学部卒業、岐阜大学工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。IAMAS講師、岐阜県情報技術顧問等を経て現職。農業・食品産業技術総合研究機構農業情報連携統括監を兼務。内閣官房スマートライフ実現のためのAI等を活用したシミュレーション調査研究専門委員を務める。

15:05～16:25

第二部 交通運輸分野におけるコロナ対応新技術の紹介

新型コロナウイルスに効果的に対応し、新たな生活様式を定着させるためには、あらゆるシーンにおいて、感染予防の観点からDX(デジタル・トランスフォーメーション)等の新技術の開発・導入・普及を進めていくことが重要です。第二部では、交通運輸分野におけるこうした取組の事例について、産業界の方からご講演いただきます。

- ・「車載用空気清浄機と空気清浄度モニター」(デンソー)
- ・「ニューノーマルを意識した高輪ゲートウェイ駅における実証実験」(JR東日本)
- ・「無人航空機の有人地帯における目視外飛行(レベル4)による配送サービス」(ANA、JAL)
- ・「自動搬送装置(AGV)による物流革新ソリューション」と「空気浄化技術とその電車・バスへの応用」(シャープ)

交通運輸技術開発推進制度 実施研究課題 パネル展示(13課題)

※HP上にて公開中

| 課題名 | 研究代表者 |
|---|-------------------|
| 海洋分野の点検におけるドローン技術活用に関する研究 | (一財)日本海事協会 |
| 安全で効率的な航空機の冬季運航を目指した滑走路雪氷モニタリングシステム技術の開発 | (国研)宇宙航空研究開発機構 |
| 自律型海上輸送システムの技術コンセプトの開発 | 三井E&S造船(株) |
| 新型航空保冷コンテナの開発による内陸空路コールドチェーン網の構築 | 東プレ(株) |
| 人工知能をコア技術とする自動操船支援システム開発 | 神戸大学 |
| 機械化技術の採用による点呼の精度向上の研究 | (株)日通総合研究所 |
| ジェットエンジン出力停止および航法計器異常を引き起こす高濃度氷晶雲の実態把握と検出法・予測法開発に関する基礎的研究 | 名古屋大学 |
| 常時微動計測による橋脚の固有振動数同定システムの開発 | (公財)鉄道総合技術研究所 |
| 大規模災害時における海上・航空輸送に関わるボトルネック解析 | (国研)海上・港湾・航空技術研究所 |
| 関東圏の航空機の効率的な運航のための極端気象予測の高度化 | 東京大学 |
| 災害用ドローン物流総合支援システムの開発 | ブルーイノベーション(株) |
| 先進安全技術による被害低減効果予測のための車両の衝突直前挙動に基づく傷害予測モデルの構築 | (一財)日本自動車研究所 |
| 内航船への新技術の適用促進等による働き方改革実現のための内航船の新たな評価手法の確立と標準化に向けた研究開発 | (国研)海上・港湾・航空技術研究所 |

※パネル展示はこちら ⇒ https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/safety/sosei_safety_tk2_000040.html